

第2回休み方改革ワーキンググループ説明資料  
島田市・川根本町の地域における  
休暇取得に向けた環境づくりへの取組

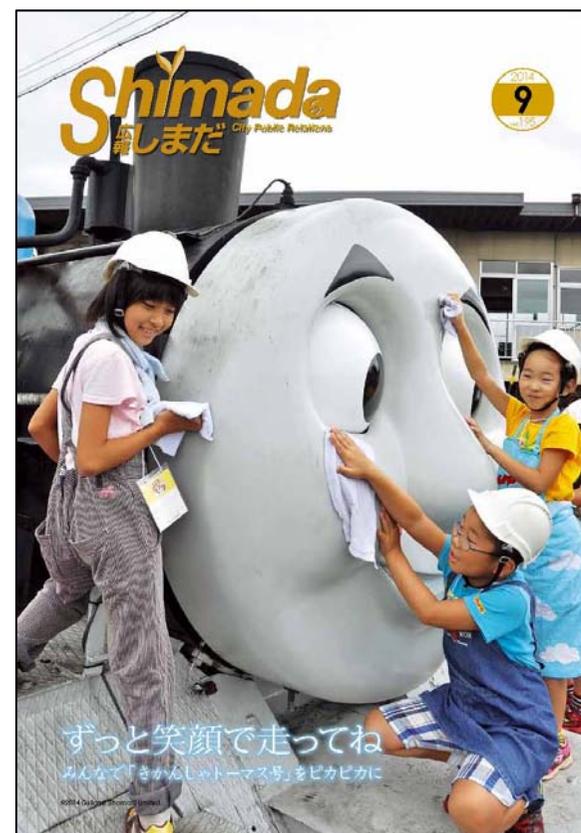
平成26年10月7日

～スキだらけのマチづくり～  
NPO法人クロスメディアしまだ

静岡県島田市日之出町2-3

[cms.or.jp](http://cms.or.jp)

0547-35-0018



# 地域の特性を活かした 休暇取得促進のための環境整備事業(島田市・川根本町)

## 連絡会議の開催

市内企業、商工会議所、商工会、観光協会、社会保険労務士、関係機関(厚生労働省/静岡労働局/静岡県)、島田市関係課、川根本町関係課、有識者(犬塚協太氏/静岡県立大学男女共同参画推進センター長)



## 重点実施日における年休取得の呼びかけ

- ◆地域への周知(新聞・FM等のメディアを活用した周知)
- ◆事業場への周知(ポスター、リーフレット配布、企業団体会報誌)
- ◆保護者への周知(小中学校へチラシ配布、お母さんフリーペーパー等)
- ◆事業場への直接訪問による働きかけ(社会保険労務士による休暇取得への働きかけ)



## 重点実施日

平成25年度 家族と地域の時間づくり重点実施日(10月11日)  
平成26年度 静岡県、同島田市・川根本町(8月21日の「県民の日」をはじめとする8月の期間)

## 提言のとりまとめ

事業場及び従業員、保護者へのアンケート調査を実施し、本事業の効果の検証と休暇取得の取組に関する好事例を収集

- ・事業場向け 回収数:112
- ・従業員向け 回収数:409
- ・保護者向け 回収数:2,609 ※H25

## フィードバック

改善策の提言リーフレットの配布(連絡会議参加団体及び協力企業)



# 重点実施日における取組

休暇取得のための環境整備事業におけるキーワード「家族」「地域」の役割について

## 平成25年度～「地域」における「家族」との結びつき

SLフェスタ(10月11日～13日)

※観光庁の家族の時間づくりと連携



島田大祭・帯まつり(10月10日～13日)



## 平成26年度～「地域」における「家族」との結びつき

こどもわくワーク(8月21日～28日)



親子わくワーク(8月21日～28日)

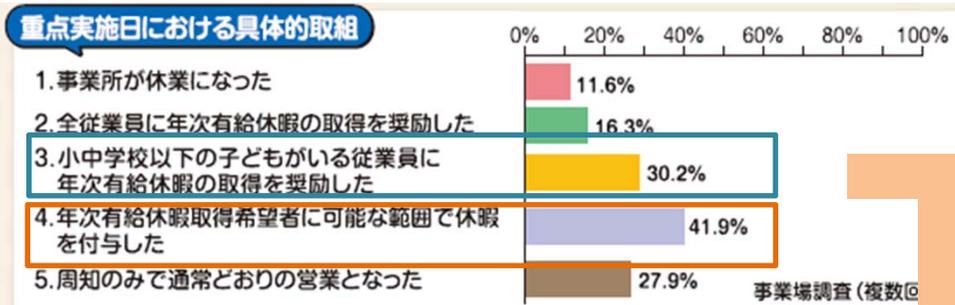
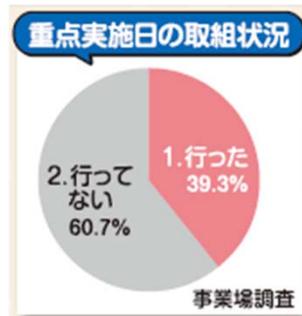


地域を巻き込んだ取組に、休暇取得のためのためらいの払拭と理解の向上効果がある

# アンケート調査の結果からの考察①

## 事業場における取組実績

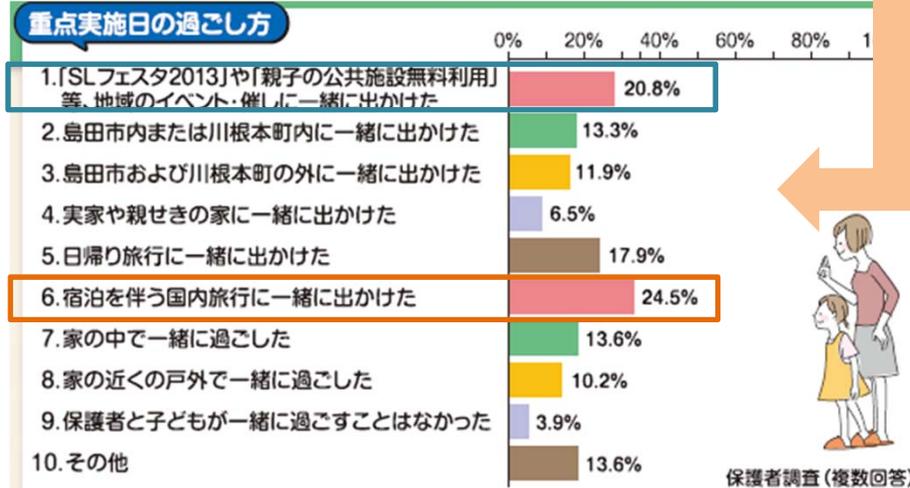
- ・何らかの取組を行った事業場は約4割
- ・具体的取組としては「休暇取得の希望者に可能な範囲で休暇を付与した」が最も多く、次いで「小中学校以下の子どもがいる従業員に年休の取得を奨励した」が多くみられた



## 保護者における過ごし方

重点実施日の休暇と土日祝の4連休を活用して、「宿泊を伴う国内旅行と一緒にでかけた」が最も多く、次いで、「SLフェスタをはじめとした地域のイベントや催しに家族で出かけた」が多くみられた。

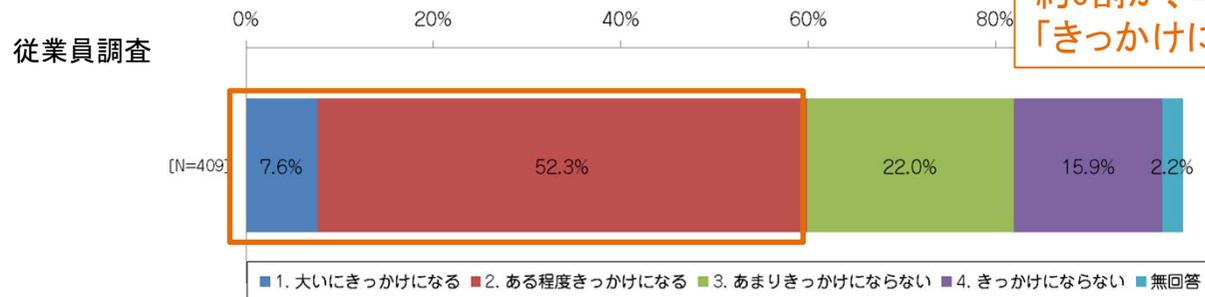
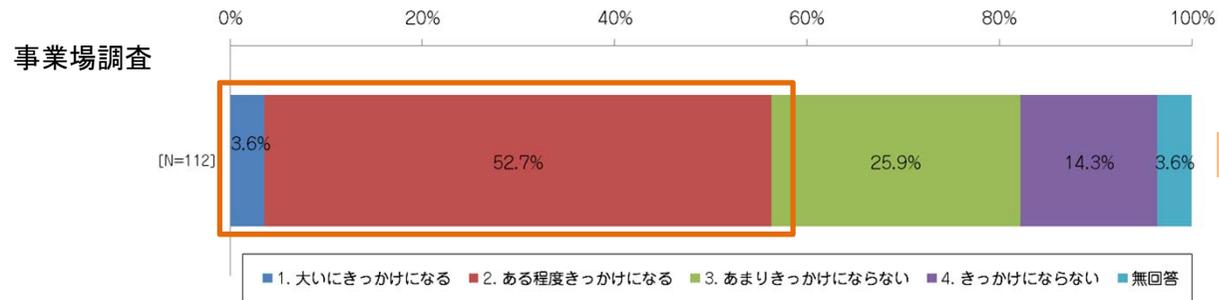
「家族」「地域」などキーワードへの事業場の理解と、従業員の意識の高さがみてとれる



## アンケート調査の結果からの考察②

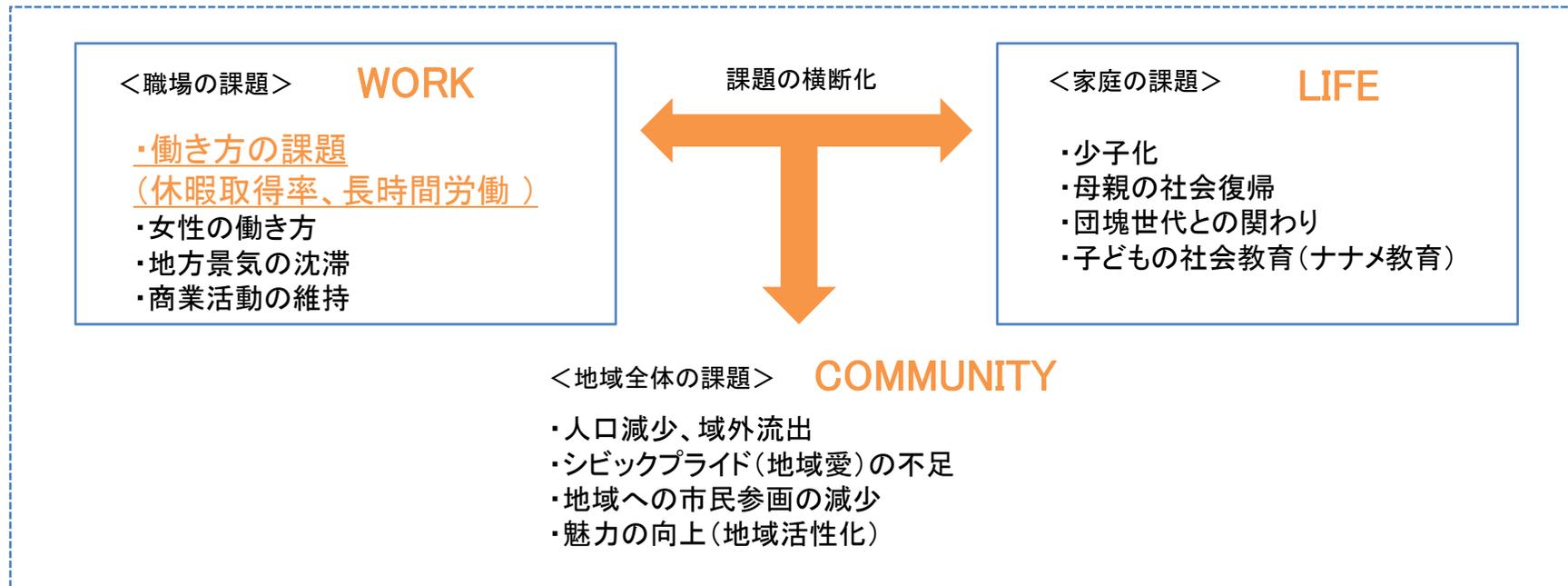
### 本事業の実施が年次有給休暇取得促進のきっかけになるか

事業場、従業員調査ともに、「ある程度きっかけとなる」との回答が半数を超えて最も多く、「大いにきっかけになる」を合わせると約6割が「きっかけになる」と回答



約6割が、年休取得促進の「きっかけになる」と回答！

# 地方コミュニティにおけるワーク・ライフ・バランスへの考察



- ・地方における働き方の見直しへの意識の醸成(地方格差是正)
- ・「地域のため」の意識づけ(課題を横断した取組の必要性)
- ・地域ごとの、働き方やワーク・ライフ・バランスの差別化

- ・「地域づくり」としてのワーク・ライフ・バランス
- ・地域の個性・魅力としての「働き方」<シティプロモーション>